

2024年7月3日

## 一般公開ツール『J-CAT』により建築工事(新築)のCO<sub>2</sub>排出量を算定

### ー 今後活用が見込まれるCO<sub>2</sub>算定法に切替え ー

東急建設株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：寺田光宏、以下当社）は、2022年度以降に受注した建築工事（新築）のCO<sub>2</sub>排出量を自社ツールで算定していましたが、2024年7月以降、ゼロカーボンビル（LCCO<sub>2</sub> ネットゼロ）推進会議<sup>\*1</sup>のもとで開発された、建築物ホールライフカーボン（WLC）算定ツール『J-CAT』<sup>\*2</sup>を用いたCO<sub>2</sub>排出量算定に切替えます。

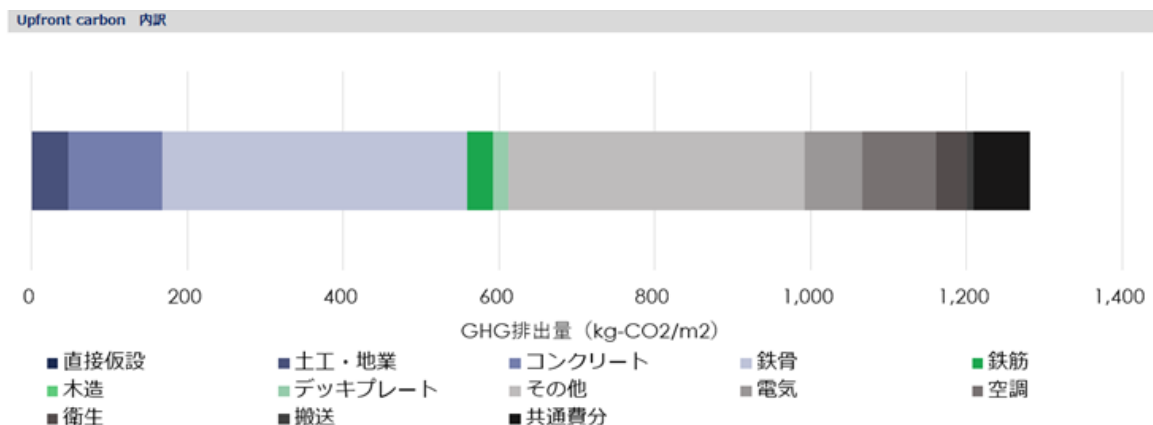
当社は、2022年2月に独自開発した、CO<sub>2</sub>排出量算定ツール<sup>\*3</sup>（以下、CO<sub>2</sub>算定ツール）を用い2022年度以降に受注した建築工事（新築）におけるCO<sub>2</sub>排出量を算定しています。これにより、当社内には約2年間のCO<sub>2</sub>排出に関するデータが蓄積され、CO<sub>2</sub>排出量の全体傾向や低減案の検討に一定の成果が得られました。一方で、独自ツールであるために、同業他社が算定したCO<sub>2</sub>排出量データなどと比較・検討ができないことなどに課題がありました。

このようななか、2024年5月16日に一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター（IBECs）内に設置されたゼロカーボンビル（LCCO<sub>2</sub> ネットゼロ）推進会議より、建築物ホールライフカーボン（WLC）算定ツール『J-CAT』が公開されました。J-CATは使用登録することで誰でも利用することができ、CO<sub>2</sub>排出量算定データの比較が可能なことから、今後、建築事業において活用が見込まれております。

そこで、当社におけるCO<sub>2</sub>算定法を自社のCO<sub>2</sub>算定ツールからJ-CATに切替えることとしました。なお、当社におけるJ-CATの活用は、簡易算定法を用い、対象をアップフロントカーボン（資材製造、施工）としています。J-CATへの切替えは、2024年7月以降に受注する建築工事（新築）を対象として、まずは首都圏エリアから開始します。

これまでに得たデータに加え、「J-CAT」の情報を活用しながら、引き続き、発注者様のご要望に応えることで、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

### 『J-CAT（簡易算定法）』による算定結果の例



### ※1 ゼロカーボンビル (LCC02 ネットゼロ) 推進会議

(一財)住宅・建築SDGs推進センター (IBECs)にて、産官学の連携により、総合的にLCC02を実質ゼロにする建築物(「ゼロカーボンビル」)について、その評価手法を整備し、普及促進を図ること目的として、2022年12月に「ゼロカーボンビル (LCC02 ネットゼロ) 推進会議」が設置されました。

[https://www.ibecs.or.jp/zero-carbon\\_building/](https://www.ibecs.or.jp/zero-carbon_building/)

### ※2 建築物ホールライフカーボン (WLC) 算定ツール『J-CAT』

『J-CAT/Japan Carbon Assessment Tool for Building Lifecycle』は、ゼロカーボンビル (LCC02 ネットゼロ) 推進会議のもとで開発された、建築物のライフサイクル全体を通じたCO<sub>2</sub>をはじめとするGHG(温室効果ガス)排出量の算定ツール(算定ソフト及びマニュアル)です。2024年5月16日に試行版がIBECsのホームページ内で公開されており、3つの算定法(簡易算定法、標準算定法、詳細算定法)が提供されています。

[https://www.ibecs.or.jp/zero-carbon\\_building/jcat/index.html](https://www.ibecs.or.jp/zero-carbon_building/jcat/index.html)

### ※3 東急建設独自のCO<sub>2</sub>排出量算定ツール『積み上げ式CO<sub>2</sub>排出量算定シート』

2022年2月に当社で独自ルールを設定した『積み上げ式CO<sub>2</sub>排出量算定シート』を開発しました。資材の種類が膨大であることに対して、90%以上の物量をカバーできるように重量割合の大きい資材をピックアップし、算定する資材を厳選しています。また、資材固有の原単位については、公的に開示されているデータを活用して、当社独自のデータベースを策定しています。

#### 【ニュースリリース】

2022年2月3日「積み上げ式による建築資材のCO<sub>2</sub>排出量算定ツールを開発」

<https://www.tokyu-cnst.co.jp/topics/2068.html>

#### 【本件に関する問い合わせ先】

経営戦略本部 コーポレート・コミュニケーション部 西田

TEL 03-5466-5008 FAX 03-5466-5069 E-mail: [webmaster@tokyu-cnst.co.jp](mailto:webmaster@tokyu-cnst.co.jp)